

別紙 4

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
生方志浦、上田敬太、村井俊哉	情動と意欲の障害	武田克彦 三村將 渡邊修	高次脳機能障害のリハビリテーション	医師薬出版株式会社	東京	2018	87-92
深津玲子	PTSD	武田克彦 三村將 渡邊修	高次脳機能障害のリハビリテーション	医師薬出版株式会社	東京	2018	278
深津玲子	高次脳機能障害の原因・種類	介護職員関係養成研修テキスト作成委員会	障害の理解	長寿社会開発センター	東京	2019	105-8
今橋久美子	高次脳機能障害を支える社会制度	武田克彦 三村將 渡邊修	高次脳機能障害のリハビリテーション	医師薬出版株式会社	東京	2018	311-17
今橋久美子	高次脳機能障害の特徴と生活上の障害	介護職員関係養成研修テキスト作成委員会	障害の理解	長寿社会開発センター	東京	2019	48-9,168-9,
中島八十一 今橋久美子			福祉職・介護職のためのわかりやすい高次脳機能障害原因・症状から生	中央法規出版	東京	2016	1-253
平澤泰介、武澤信夫	地域包括ケアとリハビリテーション - 京都プロジェクトの推進を中心に -	編集主幹：平澤泰介、椿原彰夫、才藤栄一、水間正澄	臨床医とコメディカルのための最新リハビリテーション	株式会社シナノパブリッシングプレス	東京	2016	30-32

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
村井俊哉, 生方志浦, 上田敬太	会的行動障害のリハビリテーションの原点とトピック	高次脳機能研究(日本高次脳機能障害学会誌)	39巻1号	5-9	2019年
上田敬太	情動と行動	神経心理学	34巻4号	266-73	2018年

上田敬太	社会的行動障害に向けた対応	メディカルリハビリテーション	3月号	23-28	2018年
Ubukata S, Oishi N, Sugihara G, Aso T, Fukuyama H, Murai T, Ueda K.	Transcallosal fiber disruption and its relationship with corresponding gray matter alteration in patients with diffuse axonal injury.	J Neurotrauma.	36(7)	1106-1114	2019年
田邊陽子	「高次脳機能障害者へのICFの概念を元にした生活訓練の提案」	滋賀社会福祉研究	21号		2018
中島八十一	高次脳機能障害の診断と診断書の書き方	Medical Rehabilitation	220	8-13	2018
中島八十一	社会的行動障害支援と展望:社会的行動障害をもたらす生活のしづらさ	高次脳機能研究	37(3)	275-280	2017
今橋久美子	高次脳機能障害と社会制度	Medical Rehabilitation	220	8-13	2018
上田敬太	脳損傷と攻撃性	臨床精神医学	46(9)	1077-82	2017
上田敬太	脳損傷とこだわり	臨床精神医学	46(8)	973-78	2017

上田敬太	社会的行動障害支援と 展望:社会的行動障害の 精神医学的側面	高次脳機能研 究	37(3)	281-287	2017
武澤信夫	社会的行動障害支援と 展望:社会的行動障害と 地域支援の現状	高次脳機能研 究	37(3)	293-300	2017
武澤信夫	脳卒中地域連携パスに おける高次脳機能障害 と介護保険や社会復帰 の現状	京都医学会雑 誌	64	67-71	2017
小西川梨紗	シンポジウム :高次脳 機能障害:社会的行動障 害支援と展望 社会福 祉法人から見た社会的 行動障害	高次脳機能研 究	37(3)	301-307	2017
田邊陽子	地域包括ケアシステム における在宅支援につ いて~滋賀県の高次脳 機能障害者支援の実際 と課題~	滋賀社会福祉 研究	20	6-10	2018
三村 将 中島 八十一 河村 満 種村 純	日常診療における高次 脳機能障害	日本医師会雑 誌誌	145(6)	1161-1172	2016
中島 八十一	高次脳機能障害の診断 と書類の記載方法	日本医師会雑 誌	145(6)	1191-1195	2016

山口佳小里, 深津 玲子	筆記具の使用に課題の あった就学前の発達障 害児への取り組み	作業療法	35(4)	426-435	2016
今橋 久美子	高次脳機能障害支援制 度の現状と課題	小児看護	39(13)	1636-1640	2016
Imahashi,K. Fukatsu,R. Nakajima,Y. Nakamura,M. Ito,T. Horigome,M. Haruna Y.	Perceptions regarding a range of work-related issues and corresponding support needs of individuals with an intractable disease.	Intractable Rare Dis Res.	5(3)	202-206	2016
Akiko Mizuta, Tatsuya Noda, Mieko Nakamura, Toshiyuki Ojima.	Class Average Score for Teacher Support and Relief of Depression in Adolescents	A Population Study in Japa n. American Scho ol Health Association.	86(3)	173-180	2016 Mar
Katsuhiko Takatori, Daisuke Matsumoto, Munenori Nishida, Shinnichiro Matsushita, Tatsuya Noda, Tomoaki Imamura.	Benefits of a novel concept of home-based exercise with the aim of preventing aspiration pneumonia and falls in frail older	a pragmatic controlled tr ial. BMJ Open Spor t & Exercise Medicine.	2(1)	e000127	2016 Jun
久保 慎一郎 野田 龍也 明神 大也 加藤 源太 今村 知明	NDB(ナショナルデータ ベース)の課題および留 意点と今後の展望	医療情報学 論文集	36(suppl.)	272-275	2016 Nov
明神大也 野田龍也 久保 慎一郎 今村知明	国保データベース(KDB) をPCで解析するために 効果的なデータ抽出方 法の検討	医療情報学 論文集			2016 Nov

岡本 左和子 濱田 美来 尾花 尚弥 野田 龍也 今村 知明	診断後から治療決断までの段階による糖尿病患者が求める支援の変容	第3回日本糖尿病医療学学会プログラム・抄録集		p 55	2016 Sep
森田 光治良 康永 秀生 山名 隼人 松居 宏樹 野田 龍也 今村 知明	Technology Indexを用いた病院機能の総合評価	病院	75(7)	527-533	2016 Jul
Shingaki H, Park P, Ueda K, Murai T, Tsukiura T.	Disturbance of time orientation, attention, and verbal memory in amnesic patients with confabulation.	J Clin Exp Neuropsychol.	38(2)	171-82. doi: 10.1080/13803395.2015.1094027.	2016
Ubukata S, Ueda K, Sugihara G, Yassin W, Aso T, Fukuyama H, Murai T.	Corpus Callosum Pathology as a Potential Surrogate Marker of Cognitive Impairment in Diffuse Axonal Injury.	J Neuropsychiatry Clin Neurosci.	28(2)	97-103. doi: 10.1176/appi.neuropsych.15070159..	2016 Spring
上田 敬太	頭部外傷をめぐる最近の話題 頭部外傷後の社会行動障害	高次脳機能研究会	35巻3号	283-290	2015
平野 哲雄 武澤 信夫 東 小百合 梅田 匡純 安達 徹 吉岡 修 中川 正法 武澤 信夫	高次脳機能障害者の日中活動の活性化と社会参加を進めるために - 京都府北部(丹後二次医療圏)の実情を踏まえて -	京都医学会雑誌	62(2)	85 - 90	2015
武澤 信夫	京都式地域包括ケアシステムと地域リハビリテーション・コーディネータの重要性	臨床リハ	25(4)	377-384	2016

武澤 信夫	京都地域リハビリテーション研究会 - 京都における回復期リハビリテーション病棟整備に向けた動向	回復期リハビリテーション	15(3)	51 - 53	2016
武澤 信夫	高次脳機能障害者の就労支援に関する調査報告書	平成28年度厚生労働省労災疾病臨床研究事業費補助金「高次脳機能障害者の診断・リハビリ・			2016
北恵 詩穂里 辻野 精一 土岐 明子 山中 緑 渡邊 学	抗NMDA受容体脳炎における高次脳機能障害と回復過程の検討	The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine	53(4)	330 -336	2016